

原著

工業高校卒業生における継続的な学びの調査と分析

Investigation and Anlalysis of Continuous Leaning for Technical High school Graduates

島田 和典*
Kazunori SHIMADA

長田 利彦****
Toshihiko OSADA

作田 慶**
Kei SAKUTA

豊田 善敬****
Yoshinori TOYODA

中村 豊久***
Toyohisa NAKAMURA

石坂政俊*****
Masatoshi TSHIZAKA

*東京学芸大学

Tokyo Gakugei university

***元東京工業大学附属科学技術高校

TokyoTech High School of Science and Technology

*****日本大学

Nihon University

**東京学芸大学元学部生

Tokyo Gakugei University Student

****東海大学

Tokai University

要 旨

本研究の目的は、教科「工業を設置する高等学校卒業生の継続的な学びについて、卒業後の学びの実態を調査し、分析することである。工業高校を卒業後5年～30年程度の社会人50名を対象に、卒業後の学びに関する調査を、Web上で回答できるよう設定し、実施した。その結果、卒業後の資格取得や研修への参加が見られ、特に資格取得への積極性が認められた。また、工業高校卒業生の継続的な学びに対する意識は、過去に行われた社会人教育未経験者のデータと比較して高く、大学等教育機関での必要に応じた学びに積極的な姿勢が見受けられた。理由として、高度化する技術への対応や職場での待遇改善、また最先端の技術がコスト削減へつながる等、現在の就業に直結する内容が認められた。一方で、社会人として働きながら学ぶことは現状難しく、労働時間の長さや職場の理解が不十分といった課題があげられた。

キーワード：工業高校、卒業生、大学等での学び、継続的な学びの支援

原著

工業高校における「開発型ものづくり教育」を受けた生徒の卒業後の創造性評価に関する一考察

Longitudinal Study of Students' Creativity Who Received "Education on Developmental Creation" at Technical High School.

山田 啓次*
Keiji YAMADA

*大阪産業大学全学教育機構教職教育センター

University education organization Teacher Education Center,
Osaka Sangyo university

要 旨

本研究の目的は、工業教育のなかで創造性を高める教育として位置づけられている科目「課題研究」において、開発型課題(製品開発)を中心とした「開発型ものづくり教育」を受けた生徒と、そうでない生徒の創造性を比較することにより、「開発型ものづくり教育」の効果を明らかにするものである、とくに社会に出てからの有効性の観点から、卒業後10年の卒業生を対象とした。方法として、ある年度の卒業生に対し、主要5因子性格検査をもとに作成した創造的人格尺度(知的好奇心、良識性、外向性の3因子)で個々の創造的人格を評価した。あわせて、創造性発出の指標として、「創造性に関する行動評価」を比較した。その結果、「開発型ものづくり教育」を受けた生徒は、卒業後も創造的人格の評価が高かった。これらの結果から「開発型ものづくり教育」を受けた生徒は、社会に出てからも創造性が高いと結論付けた。

キーワード：創造性、製品開発、開発型ものづくり教育、創造的人格、卒業後の評価